

科目区分	統合分野	科目名	臨床看護の実践	対象学生	第3学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)のうち8H+試験	学 期	第1学期
担当講師	看護師				
科目目標	1. 高度化する医療の進歩や変化に対応し、質の高い継続したケア 並びに 安全の保証を提供するための看護実践能力を習得する。				
授業概要	<p>I. 看護の提供のしくみ</p> <p>第1～2回 サービスとしての看護 (講義)</p> <p>1) 看護サービス提供の場 2) 看護サービスの管理 (1) 看護サービスの管理とはどのようなことか 看護管理の考え方の歴史的变化を含む (2) 看護管理システム (3) 組織 (4) 看護提供システム (5) リーダーシップとフォロワーシップ (6) 人的資源の管理 (7) 情報共有のしくみ (8) 看護業務遂行のための物的資源管理・医薬品管理</p> <p>第3回 看護をめぐる制度と政策 (講義)</p> <p>II. 広がる看護の活動領域</p> <p>第4回 1) 国際化と看護 (講義)</p> <p>(1) 国際看護学とは何か (2) 開発途上国の定義 (3) 健康と保健医療の世界的課題 (4) 国際協力のしくみ (5) 国際保健の基本理念 (6) 国際看護活動の展開 (7) 日本に在留する外国人の看護 (8) 異文化理解</p> <p>第5回 終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>第1回～第4回までのキーワード</p> <p>看護専門職の役割、病院、診療所、助産所、介護老人保健施設、保健所の業務、市町村の業務、居宅、訪問看護ステーション、介護保険施設、地域包括支援センター、在宅における看護活動、看護行政の組織、看護にかかわる診療報酬、看護職員の確保、看護職員の労働環境、国民皆保険、看護管理の概念、看護組織と職務、看護業務管理と看護基準、看護体制、看護チーム、看護職員の労働安全衛生、看護におけるマネジメントの変遷、看護のグローバル化、多様な文化と看護、看護の国際協力活動</p>				
授業の進め方	<p>統合は、分化したものが集まって全体となるように進化していくものである。分化した1つ1つの要素を考える</p> <p>とともに、分化したものをつなぐ要素(①患者中心の看護・患者の人権擁護・アドボカシーの概念、②看護の役割・機能と責任 ③看護の専門性)やEBN(evidence based nursing)について探求す</p>				
履修のポイント・留意事項	<p>PBL (Problem Based Learning) 問題解決型授業形態で進行する。学生が自主的に学習し、課題の準備をする。臨床実習の実践をもとに、学生同士の意見交換を中心に、提示した課題について取り組む。</p>				
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院 学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門 日本看護協会出版会(サブテキスト)</p>				
評価方法・配点	<p>終了試験、レポート課題、授業の取り組み状況、技術演習評価によって総合的に評価する。</p>				